

MHC 創立 20 周年記念 2009MHC 登山講習 紅葉の涸沢・奥又白を行く

10月3日 AM6:00 松本を出発。AM7:00 沢渡で総勢 22 名となり、5 台のタクシーで上高地へ向かう。天候は晴れ。新釜トンネルを抜け、シラカバ林の車道を廻ると空高く穂高岳が望まれる。バスターミナルの広場で全員準備を整え、AM8:30 出発する。森林帯の中、明神、そして徳沢を通り過ぎ、梓川畔から対岸の前穂高北尾根を眺めながら歩き進み、AM12:00 横尾に到着する。



上高地を出発する



陽が翳る涸沢



最後の夕照に光る前穂高岳

横尾で昼食後 PM12:40 出発。河原を 30 分程歩くと、左手に屏風岩の大障壁が望まれる。PM1:45 沢が合流する本谷橋に到着。小休止後、急坂の岩道を 1 時間も登ると、ナナカマドの低木帯が広がり、穂高岳の稜線が間近に迫ってくる。PM3:30 涸沢ヒュッテに到着、泊する。夕食後、夕日が前穂高岳先峰を照らしながら、吊尾根の彼方に沈むと、徐々に翳っていく。涸沢小屋の灯りが一層明るく燈り、色とりどりのテントが張られた涸沢が静かに暮れていく。



涸沢で記念撮影



黄金色に輝く涸沢岳



朝陽に輝く北穂高岳

10月4日、快晴。昇る朝陽に照らされて、秋色の穂高岳の峰々が一層黄金色に輝いている。準備を整え、AM7:30 難路パノラマコースを行く。岩場を攀じり、ガラ場をトラバースして振返ると涸沢カールが眼下に広がり、涸沢岳、奥穂高岳が高く大きく望まれる。北方には、槍ヶ岳がひととき高く、天を突いて聳えている。AM8:45、稜線に登り出ると常念、蝶ヶ岳の彼方に富士山、南アルプスを眺望する。屏風のコルから、軽荷となって屏風の耳に向かう。痩せ尾根を登り詰め、AM9:30 屏風の耳に登頂する。「おめでとう！」

このピークからは、槍、穂高岳の銃走路の全貌を、間近に目で辿ることができる。勇気を奮って登った幾つもの岩稜ルート、登攀の思い出は尽きることなく巡ってくる。



コル上部からの前穂高岳



屏風の耳を目指し岩稜線を登る



屏風の耳から望む槍ヶ岳の雄姿

AM10:00 下山開始、再び屏風のコルに戻り、下山ルートを徳沢へ向かう。滑りやすい岩道の足場を確保しながら降りていく。奥又白池への分岐を経て PM1:30 登山口へ到着。PM2:00 徳沢を經由し、PM4:00 上高地にようやく辿り着く。上高地からは往路と同じようにタクシーに乗り、沢渡を經由して PM5:30 松本へ無事帰還する。「いつまでも忘れられない、紅葉に彩られた涸沢と屏風の耳からの大迫力」の大展望だった。